

## ◆ えりも町商工会 お買い物アンケート調査 結果報告書 ◆

### <目的>

北海道が実施している広域商圈動向調査の結果を見ると、高規格道路などの交通インフラ整備等によって、帯広市への購買流出率は26.0%と高い水準で流出が進み、消費流出が課題となっております。

本調査（アンケート）は、日常のお買い物について消費者がどのような意見を持っているかを明らかにすることで現状を把握し、今後の『地域の皆さまのお買い物の利便性の向上』に向けた事業活動の参考にすることを目的としています。

### <調査期間>

平成29年10月20日～平成29年11月10日

### <調査対象>

年齢性別問わず 300名

えりも町職員、団体職員、えりも町内の事業所に従事している従業員 190人

えりも町商工会 商業部会幹事（14名）の顧客等 110人

### <調査方法>

えりも町商工会 商業部会幹事（14名）により、手交配布、手交回収

### <回収状況>

配布数：300人 回収数：290人 回収率：96.7%

### <アンケート調査の結果について>

今回のアンケートでは、「食料品のお買い物」「食料品以外のお買い物」について、それぞれ町内、町外での利便性や購入頻度、不満に思っていることなどについて、併せて「インターネット・通信販売」の購入品や購入頻度について調査いたしました。食料品についての利便性は「とても満足（42.1%）」「やや満足（25.5%）」と高評価に対して、不満に思っていることは「品揃えに不満（30.4%）」「駐車場がない、狭い（23.6%）」と不満がありながら、食料品は町内で購入される方が大半を占めていることが分かりました。一方で町外での食料品購入は「様似町」「浦河町」「帯広市」で品揃えの良さ、価格の安さなどにより購入する方が見受けられました。食料品以外の利便性については「やや不満（32.8%）」「とても不満（28.3%）」と半数以上の方が不満と回答、町外での食料品以外の購入は「浦河町」「帯広市」「新ひだか町」で購入する意見が多く「衣類」「書籍」「日用雑貨」などを中心に、町外やインターネット・通信販売等で購入されていることが分り、町内で購入できないことが不満であることが分かりました。

お買い物での困り事や不便に感じている事については14ページ以降に年代と性別に区分して記載しましたが、ハード面・ソフト面について貴重なご意見を聞くことができましたので、真摯に受け止め、現状を理解して、今後『地域の皆さまのお買い物の利便性の向上』に向けた事業活動の参考とさせていただきます。